

政策番号 政策名

231 個性と魅力あるまちづくり

政策の方向

まちづくりの方向を「保全・再生・創造」の3つの大きな概念で捉え、各種の都市計画制度を活用しながら、市民が快適に安心して生活でき、かつ、多彩で个性的な機能をもつ魅力あるまちをつくる。  
 そのため、広く市民と情報を共有し、京都独自のきめ細かなまちづくりのしくみを整えながら、それぞれの地域において、市民との協働により、地域に根ざしたまちづくりを進める。永い歴史のなかで受け継いできた自然・歴史的資源に恵まれた地域においては、その個性を保全・再生し、新たな都市の活力を担う市南部においては、積極的に都市機能を充実し、都市全体の魅力と活力を高める。

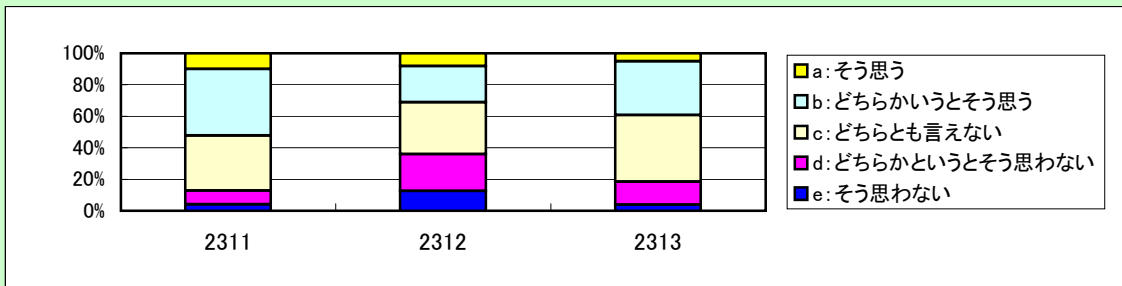
政策の評価

1 政策の評価に用いる客観指標の最新値と評価

施策番号	客観指標名	20		21		22	
		数値	評価	数値	評価	数値	評価
2311	らくなん進都整備推進協議会会員団体数（団体）	53	a	53	a	52	b
2312	地下鉄駅別乗降客数（二条駅）（千人）	6,934	a	6,982	a	6,248	e
2313	地区計画の地区数（地区）	50	a	50	e	52	c
2313	地域協働型地区計画の策定数（計画）	1.5	c	0.5	e	0.8	e
客観指標総合評価			a		c		d

2 政策を構成する施策に対する市民生活実感評価

施策番号	設問	評価		
		20	21	22
2311	美しい自然や町並みが保たれている一方、南部地域には企業が集積するなど、多様なまちづくりが進んでいる。	b	b	b
2312	鉄道駅の周辺や商店街が賑わっている。	c	c	c
2313	景観や住環境を守るための住民によるまちづくり活動が盛んになってきている。	c	c	c
市民生活実感総合評価		c	c	c



### 3 総合評価（市民生活実感総合評価＋客観指標総合評価）

C	<p>客観指標については、全4項目のうち2項目で評価が下がり、全体としてはc評価からd評価となり、やや悪い状況となった。</p> <p>市民生活実感については、多様なまちづくりの進展に関してb評価であるが、まちのにぎわい・住民のまちづくり活動に関する2項目でc評価であり、全体としてはどちらとも言えない状況である。</p> <p>こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的はそこそこ達成されていると評価する。</p>	20年度	B
		21年度	C

### 4 政策の重要度（27政策における市民の重要度）

20年度		21年度		22年度	
順位	%	順位	%	順位	%
23	7.0%	22	6.6%	24	6.5%

### 5 原因分析・今後の方向性

<p><b>【原因分析】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>客観指標については、地区計画の策定数が増加したものの、地下鉄の太秦天神川駅延伸に伴い、二条駅の乗降客数が減少し、全体として評価は1ランク下がってdとなった。</li> <li>市民生活実感については、市民にとって身近な政策ではないこともあり、ここ数年大きな変化は見られない。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本市の厳しい財政状況を踏まえつつ、京都の未来を見据えた個性と魅力あるまちづくりを計画的に進めて行く必要がある。このため、「新・京都市南部創造まちづくり推進プラン」、「らくなん進都（高度集積地区）まちづくり推進プログラム」に基づく基盤整備の充実や民間開発の適切な誘導及び企業立地等の取組、地域における住民の自主的なまちづくりなどを市民・事業者と行政との適切な役割分担と共汗によって推進していく必要がある。</li> </ul>
---

### （参考）この政策を実現するための施策とその総合評価

施策番号	施策名 施策概要	評価結果		
		20	21	22
2311	<p>保全・再生・創造を基調とするまちづくり</p> <p>永い歴史のなかで受け継いできた自然・歴史的資源に恵まれた地域においては、その個性を保全・再生し、新たな都市の活力を担う市南部においては、積極的に都市機能を充実し、都市全体の魅力と活力を高めるまちづくりを進める。</p>	B	C	B
	<p>多彩で個性的な機能をもつ地域のまちづくり</p> <p>鉄道駅周辺の交通の利便性が高い地域においては、周辺住環境との調和に配慮した都市機能の配置と市街地環境の整備を行い、民間活力を活用しながら、にぎわいと潤いのあるまちづくりを進める。</p> <p>また、地域特性に応じた商店街の活性化を図り、商業振興と一体となったまちづくりを進める。</p>	B	B	C
2313	<p>まちづくりを支えるしくみづくり</p> <p>広く市民と情報を共有し、京都独自のきめ細かなまちづくりの仕組みを整えながら、それぞれの地域において、市民との協働により、地域に根差したまちづくりを進める。</p>	B	D	C